

みんなの声かけ運動

冬の一日 福祉体験



「視覚障害を知ろう」

日時:令和6年12月4日(水)

13:30~15:30

場所:兵庫県福祉センター101会議室

(神戸市中央区坂口通2-1-1)



プログラム

1. 講演

「見えない・見えにくい
人の困りごと」

【講師】

兵庫県視覚障害者福祉協会
小林 由夏 氏

2. 体験学習

「視覚障害者体験」

講師の説明と、障害当事者の話を聞きながら、目隠しをして福祉センターの周りを少しだけ歩いてみましょう

3. 意見交換会

体験学習の感想や、普段気になっていることを、当事者と交えて話し合しましょう

【アドバイザー】

兵庫県身体障害者福祉協会
大谷 武 氏

参加費無料、どなたでも参加できます。

この研修会は、体験学習でそれぞれの障害について知ってもらい、障害当事者との交流会を行うことで、誰もが街なかで困っている人を見かけたら、気軽に「お手伝いしましょうか？」と声をかけて助け合える兵庫県を目指します。
どなたでもお気軽にご参加ください。(先着25名)



【お申込み・お問い合わせ】

(公財)兵庫県身体障害者福祉協会

TEL:078-242-4620

FAX:078-242-4260

MAIL:koekake@hyoshinkyō.jp

お申込みはお電話、メール、LINE、HPのお問い合わせフォームから
※申し込み期限11月22日



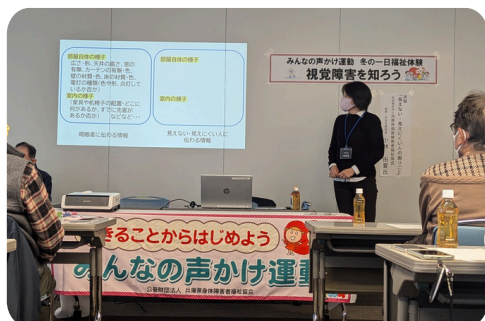
令和6年度みんなの声かけ運動推進員地域会議

令和6年度みんなの声かけ運動

推進員地域会議実施報告

神戸会場

講義 義：「見えない・見えにくい人の困りごと」
体 験：「視覚障害者体験」
福祉センター前でのアイマスク・介助体験
講師 師：兵庫県視覚障害者福祉協会 小林由夏氏
意見交換会：「声のかけ方を考えよう」
アドバイザー：兵庫県身体障害者福祉協会 大谷武氏



令和6年12月4日(水)、兵庫県福祉センターにて、みんなの声かけ運動推進員地域会議として、視覚障害者体験研修会を開催しました。

一般社団法人兵庫県視覚障害者福祉協会的小林由夏氏を講師にお招きし、視覚障害とはどのような障害か、種類や生活についてご講演いただいた後、二人一組でアイマスクをつけて館内や外を歩くワークショップを行いました。

ワークショップでは、誘導の基本姿勢や注意点を確認し、福祉センターの中や外の公園を歩きながら、声のかけ方、狭い道の通り方などに挑戦しました。

ペアの方はアイマスクをすることで、見えない中での情報の感じ方を知ることができ、誘導する側の姿勢や声かけの大切さを知ることができました。

その後、当協会副理事長で視覚障害者の大谷武氏をアドバイザーとしてお招きし、当事者と推進員の意見交換会を行い、当事者が普段の生活の中で感じていることや、経験談を聞き、参加者からも多くの質問が寄せられました。

意見交換会で出た意見や情報は当協会Xにて紹介しています(@Hyoshinkyō)

ワークショップ研修会で体験をした後に講師や当事者と対話をしたことで、より見えない・見えにくい人のことを知ることができ、声をかけていくことの大切さを改めて意識することができた、充実した会となりました。